

①



教育学道案内

教育学道案内

～教育学とは何か？～

東京学芸大学長
國 分 充

■自己紹介

出身地：宮城県仙台市

専門：障害児の心理学、心理学史

出身大学（大学院）：東北大学教育学部

1999年より本学教員（25年目、前任校

は金沢大学）2020年より学長職（5年目の69歳）。学生

時代に柔道をやる（強くない）。本日のオリンピック女子

48kg級出場の角田夏実さん（金メダル確実！）が所属し

た本学柔道部の顧問。



■教育学は、高校までにはない学門なので、どういう学問か？について、その道案内をしたい。

■みなさん方の中には、受験生が多いと思うので、志望校選びの一助になることを意識して、国立大学の教育学部には、2つのタイプがあるということから、それを端緒にして、教育学のあり方を見ていきたい。

■本学は、学校の先生になるための教育学部（教員養成）をもっているが、そうでない教育学部も国立大学にはある。

■つまり、一口に教育学部と言っても、教員養成をしているところと、教員養成をしていない教育学部の2つが、国立大学にはある。



⑤ ■ 国立大学の2つの教育学部。それを整理すると…

教員養成を行う大学・学部【戦前の師範学校が中心→教員養成という職業教育】

北海道教育大学

宮城教育大学

東京学芸大学

愛知教育大学

京都教育大学

大阪教育大学

福岡教育大学

奈良教育大学

地方国立大学（の教育学部）

学生定員多い。例えば、本学の教員養成系は825名

“新構想”大学（1978～81発足：現職研修目的）

上越教育大学

兵庫教育大学

鳴門教育大学

教員養成を行わない教育学部のある大学【戦前の帝国大学→官僚、法曹、医師等の国家の指導者養成】

北海道大学

東北大学

東京大学

名古屋大学

京都大学

（大阪大学人間科学部）

九州大学

学生定員は少ない。例えば、東北大学は70名

■“教員養成をしていない教育学部ってのは何？”、“先生になるためではない教育学って一体、何？”

■しかし、そういう大学も、教育学部と名乗っているのだから、そこで研究され、勉強しているものも教育学のはず。

■それを見るため、教員養成をしない旧帝国大学の教育学部を見てみると、、、（昔の東北大学を例に）

■昭和の東北大学教育学部（半世紀前の1975年）の構成（2学科5専攻、“教育学”とは何か、を知るためには、よくできていた）

教育学科

・教育哲学、教育史

（3専攻）

・教育行政、教育内容（教育課程）、学校管理

・教育社会学、社会教育学

教育心理学科

・教育心理学

（2専攻）

・心身欠陥学

学生は、いずれかの専攻に属し、そこで開講されている科目の単位を取って卒業する



当時の学生証

それぞれを見ていくと、まず、教育学科の3専攻

- ・ 教育哲学、教育史

教育の意義、理念、歴史について知る、調べる。

教育の原理に係わることについて知る、調べる。

- ・ 教育行政、教育内容（教育課程）、学校管理
教育について役所の行う業務（行政サービス）、学校教育で教えるべき内容（学習指導要領）、学校の維持管理
学校教員の勤務に関係する規則、法律について知る、調べる。

教育に関する法律関係について知る、調べる。

- ・ 教育社会学、社会教育学

教育をめぐる種々の社会現象について知る、調べる。

地域・社会を対象とする教育的事業（公民館等の活動）について知る、調べる。

（実は、内容的には大分異なるが、）社会と教育の関係・関わりについて知る、調べる。

次に、教育心理学科の2専攻

- ・教育心理学

子どもの学習や発達の様態・法則を知る、調べる。

- ・心身欠陥学

障害をもった子どもの学習や発達の様態・法則を知る、
調べる。

教育の対象である子どもについて知る、調べる。

- 以上、東北大学の教育学部は、“教育学”部と名乗っているのだから、その構成は、“教育学”のひとつの姿（どういう姿かは後述）
- その特徴をとりあえず見ておくと…

■ 教員養成をしない教育学部（旧帝大の教育学部）の“教育学”の特徴2つ。

1. いろいろの学問・科学（哲学、法律学、社会学、心理学等々）を教育へ応用した学問・科学（応用学門・科学）から成る複合学問・科学。相互の浸透はあまりない→学的体系性がなく、統合がない。
2. この“教育学”は、大人と子どもの間で行われる教育現象の外側（理念、歴史、法律、社会等）に関わるもの（教育学科）と、子どもや、子どもと教育者の関係などの教育現象そのものに関わるもの（教育心理学科）とから成る。

■ここでの学生の学びは、自分の属している専攻で開講されている授業の単位を、卒業に必要な分だけとって卒業していくというもの

■しかし、この“教育学”部では、教員養成をしないというのだから、この学部の学びだけでは、教員免許は取れないということ→教員免許状の取得は卒業要件ではない

■では、教員養成をしている教育学部（→教員免許状の取得が卒業要件）の教育学とは何か？、これを学生の学びの方から考えてみたい。

■ 例えば、教員養成をする本学のカリキュラム（少しわかりやすく改変）

教育基礎科目

教育の理念と歴史（→教育哲学・教育史）
 教育組織論（→教育行政）
 教育心理学（＝教育心理学）
 特別支援の理解（→心身欠陥学）
 教育実習
 etc.

専攻科目

	教科専門（教科内容）	教科教育学
国語専攻	国文学概論 etc.	国語科教育論
社会専攻	地理学概論 etc.	社会科教育論
数学専攻	線形代数 etc.	数学科教育論
etc.		

学生は、いずれかの専攻に属し、教育基礎科目と、自分の専攻の専攻科目の単位を取って卒業する

■ 例えば、教員養成をする本学のカリキュラム（少しわかりやすく改変）

教育基礎科目

教育の理念と歴史（→教育哲学・教育史）
 教育組織論（→教育行政）
 教育心理学（＝教育心理学）
 特別支援の理解（→心身欠陥学）
 教育実習
 etc.

だいたい教員養成をしない教育学部の“教育学”の内容

専攻科目

	教科専門（教科内容）	教科教育学
国語専攻	国文学概論 etc.	国語科教育論
社会専攻	地理学概論 etc.	社会科教育論
数学専攻	線形代数 etc.	数学科教育論
etc.		

教科についての科目（教員養成をしない教育学部にはない）

■まとめて、教員養成をする教育学部のカリキュラムの構造

教育基礎 科目

教育の理念と歴史 (→教育哲学・教育史)
 教育組織論 (→教育行政)
 教育心理学 (=教育心理学)
 特別支援の理解 (→心身欠陥学)
 教育実習
 etc.

だいたい教員養成をしない教育学部の“教育学”の内容→**“狭義の教育学”**

専攻科目

	教科専門 (教科内容)	教科教育学
国語専攻	国文学概論 etc.	国語科教育論
社会専攻	地理学概論 etc.	社会科教育論
数学専攻	線形代数 etc.	数学科教育論
etc.		

教科についての科目：**教科専門 (教科内容) と教科教育学**

- ・ 教科専門（教科内容）

国語なら国文学等や、社会なら地理学等、数学なら代数学等、理科なら物理学等、体育実技等、絵画等、楽器演奏等々の教科の背景にある学問・実技そのものについて学ぶ。
（これは“教育学”ではなく、他のそれぞれの学問・科学）

- ・ 教科教育学

教科を教える指導方法、教材や教材の作成方法等について学ぶ。（これは“教育学”）

■ そうすると、“教育学とは何か？”ということ
を、国立大学の2つのタイプの教育学部から
探っていくと、教育学というのは、広くは…、

広く、先生に必要な
教育学とは、右
の二つから成る

“狭義の教育学”

教育哲学・教育史
教育行政・教育内容（教育課程）・学校管理
教育社会学・社会教育学
教育心理学
心身欠陥学 等々

+

教科教育学

国語、社会、数学等々の各教科ごと

■先に教育養成をしない教育学部の教育学（“狭義の教育学”）を、いろいろの学問・科学（哲学、法律学、社会学、心理学等々）を教育へ応用した学問・科学（応用学門・科学）から成る複合学問・科学で、相互の浸透はあまりないとしたが、教員養成を行う教育学部の“教育学”は、さらに、多くの学問・科学の複合体ということになる。相互の浸透は一層ない➡学的体系性や統合も一層ない。

■ひとつの原理（理論）で、学的対象となる現象をみなゴリゴリ説明していく学問・科学（e.g)世の物理現象をみなニュートン方程式で説明していく物理学、剰余価値で資本主義を全部を説明していくマルクス経済学、無意識ですべての心的現象を説明していく精神分析等々）とは異なる。

■（以上のように、教育学には、全体としては、学的体系性がないので）理論追求を求めると、物足りず、満足が得られないかもしれない。

■ Wikipediaの“教育学”の記述：

教育学は、哲学・歴史学・社会学・心理学・法学・行政学・経営学などの諸学問を基礎に据え、あるいは応用することで、さらなる発展と新しい視点を獲得してきたと言える。そのため、ときに個の「学」としての堅牢さが不十分であるとか、学問のアイデンティティーが未完成であるとかという指摘を受けることがある。

.....

■が、しかし、学問領域を広くいろいろ学びたいという関心を受けとめることができる。というのは、教育学自体の幅広さに加えて、応用学問・科学なので、その基礎となる学問・科学についても学ぶことになる。例えば、教育哲学なら哲学を、教育心理学なら心理学をと、幅広く、知識を広げていくことができる

■ Wikipediaの“教育学”の記述：

一方、このアイデンティティーが未完成な状態の中にこそ、教育学の特質を見いだそうとする捉え方もある。教育学では、……学際的知見を成立させることも可能である。このような学際性こそが教育学の特徴的な個性であり、教育の現象を論じるためには不可欠な態度であるとも言える。

■ さらに、教員養成を行う教育学部では、広く教育学を専門とする教員のほか、教科専門（教科内容）の教員もいて（国文学から物理学、柔道や、版画の教員などなど）、みなさんの学問関心が広くても、それを受けとめることができる。 ➡それを反映する教員構成（「小さな総合大学」と言っているいい陣容）

■ 教員養成をする教育学部としない教育学部の大学教員の構成

教員養成をしない教育学部の教員構成

- ・ 教育哲学、教育史
 - ・ 教育行政、教育内容（教育課程）、学校管理
 - ・ 教育社会学、社会教育学
 - ・ 教育心理学
 - ・ 心身欠陥学 等々
- “狭義の教育学”の教員**

教員養成をする教育学部の教員構成

- ・ 教育哲学、教育史
 - ・ 教育行政、教育内容（教育課程）、学校管理
 - ・ 教育社会学、社会教育学
 - ・ 教育心理学
 - ・ 心身欠陥学 等々
- “狭義の教育学”の教員**
- +
- ・ 教科専門（教科内容）
 - ・ 教科教育学
- 教科についての教員**

小さな
総合大学

■さらに、本学は、教員養成を行う教育大学・学部の中でも、わが国で学生数、教員数ともに最大。加えて、本学は、教員養成だけでなく、学校や地域の教育を支える教育支援職（カウンセリングや社会福祉等）の養成も行っており、そうした分野の教員も揃っている。

■ということから、教育学に関心をもち、進路を教育学部と考えているなら、ぜひ本学を選んでほしいと思います。本学は、みなさんの多様な学びの関心・要望に、きっと応えることができると思います。近いうちに本学の学生としてお会いしましょう！

